

# 届出

[平成21年度設置]

計画の区分：学部<sup>注1</sup>の学科設置

注1

杏林大学 保健学部 理学療法学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 杏林学園  
平成22年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 八王子事務部教務課

職名・氏名 カチョウ アオヤギ タカノリ  
課長・青柳 貴徳

電話番号 042-691-8713

（夜間） 042-691-0011

F A X 042-691-1094

e-mail takaao@ks.kyorin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

# 目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1～3
2. 授業科目の概要	4～10
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13～29
6. 留意事項に対する履行状況	30
7. その他全般的事項	31～33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人 杏 林 学 園

## (2) 大学名

杏 林 大 学

## (3) 大学の位置

〒192-8508 (181-8611)  
東京都八王子市宮下町476 (東京都三鷹市新川6丁目20番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	( マツダ ヒロハル ) 松 田 博 青 (昭和63年2月)		
学 長	<del>(ナガサワ トシヒコ)</del> 長 澤 俊 彦 <del>(平成10年4月)</del>	(アトミ ユタカ) 跡 見 裕 (平成22年4月)	任期満了のため。 変更年月日 平成22年4月1日(22)
学 部 長	( オオタキ ジュンイチ ) 大 瀧 純 一 (平成18年4月)		
学 科 長 等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健学部 理学療法学科  学士(理学療法)	年 4	人 40	年次 人 -	人 160	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	—人	(—)	(—)	40人	40人	1.21倍	
志願者数	—	(—)	(—)	941	1105		
受験者数	—	(—)	(—)	845	1061		
合格者数	—	(—)	(—)	128	136		
B 入学者数	—	(—)	(—)	49	48		
入学定員超過率 B/A	—	(—)	(—)	1.22	1.20		

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備 考
1年次	—	(—)	(—)	49	48	
2年次	—	(—)	(—)	—	49	
3年次	—	(—)	(—)	—	—	
4年次	—	(—)	(—)	—	—	
計	—	(—)	(—)	—	—	

- (注) ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%]
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 0 ]	[ 0% ]
	うち平成19年度入学者 一人	うち平成19年度 一人	0%]
	うち平成20年度入学者 一人	うち平成20年度 一人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 0人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	(累積)計 [ ]	[ 0% ]
	うち平成19年度入学者 一人	平成19年度 一人	0%]
	うち平成20年度入学者 一人	平成20年度 一人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 0人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 0人	
(主な退学理由)			

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学
  - ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

## 2 授業科目の概要

<保健学部 理学療法学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
人間 科学系	哲学	1前・後		2								
	社会学	1前・後		2								
	法学	1前		2								平成21年4月から、履修機会を増やすためにクラス(授業コマ)を追加(21)担当(兼任)→(兼任)
	心理学	1前		2								
	生命倫理学	1後	2									
	芸術	1前・後		2								退職のため、平成22年4月から変更(22)(兼任)→(兼任)
	社会福祉学	1後 1前		2								平成21年度から複数学科合同開講科目を少人数クラス編成(学科別開講)に変更したため、担当教員及び配当学期を変更(22)(兼任)→(兼任)
	倫理学	1前		2								
	発達心理学	1後		2								
	職業適性論	1後		2								定年退職のため、平成22年4月から担当教員を変更(22)(兼任)→(兼任) 定年退職のため、平成22年4月から担当教員を変更(22)(兼任)→(兼任)
	小計(10科目)	—	2	18		0	0	0	0	0		
基礎 分野	数学	1前		2								
	統計学	1後		2								
	情報処理論	1前 1後	2					1				複数学科合同開講科目としたため、配当学期を変更した。また、授業理解度を深めるため平成22年4月から担当教員を追加(22)(助教)→(助教)
	基礎物理学	1前		1								
	物理学概論	1後		2								
	基礎化学	1前		1								複数学科合同開講科目を少人数クラス編成(学科別開講)に変更したため、平成22年4月から担当教員を変更(22)(兼任)→(兼任)
	生化学概論	1後		2								兼任准教授の所属する学科において、担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21)担当(兼任)→(兼任)
	基礎生物学	1前		1								
	生命科学概論	1後		2								兼任教授の所属する学科において、担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21)担当(兼任)→(兼任)
		小計(9科目)		2	13		0	0	0	1	0	
語学系	英語Ⅰ	1前		2								兼任講師の出講日と、時間割編成の調整が不可能となったため、平成21年4月から担当教員を変更(21)担当(兼任)→(兼任)
	英語Ⅱ	1後		2								講師が退職のため、平成21年4月から担当教員を変更(21)担当(兼任)→(兼任)
	英語Ⅲ	2前		2								平成22年4月から 兼任講師の開講日時間の調整が困難となったため、兼任辞任により担当教員を変更(22)担当(兼任)→(兼任)
	英語Ⅳ	2後		2								平成22年4月から 兼任准教授の開講日時間の調整が困難となったため、兼任辞任により担当教員を変更(22)担当(兼任)→(兼任)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	英会話	2前・後 2前		2								履修機会を増やすために平成22年4月からクラス(授業)を追加(22) 担当(兼任) → (兼任) (兼任)
	医学英語	2後		2								兼任教授の所属学科における担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22) (兼任) → (兼任)
	日本語表現法	1前・後 1前		2								平成21年4月から履修機会を増やすためにクラス(授業コマ)を追加(21)
	小計(7科目)		4	10		0	0	0	0	0		
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	1後 1前	2									教育効果をより高めるため、解剖学実習Ⅰと並行して行うよう、平成21年4月から開講学期を変更。 兼任准教授の所属学科における担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21) 担当(兼任) → (兼任) オムニバス 開講曜日時限との調整困難により、兼任を辞退したため、平成22年4月から削除(22) (兼任) 削除
	解剖学Ⅱ	2前	1									開講曜日時限との調整困難により、兼任を辞退したため、平成22年4月から削除(22) (兼任) 削除
	解剖学実習Ⅰ	1後	1				0	0	+	+		兼任准教授の所属学科における担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21) 担当(兼任) → (兼任) 開講曜日時限との調整困難により、兼任を辞退したため、平成22年4月から担当教員を変更(22) (兼任) → (兼任)
	解剖学実習Ⅱ	2前	1									開講曜日時限との調整困難により、兼任を辞退したため、平成22年4月から担当教員を変更(22) (兼任) → (兼任)
	生理学Ⅰ	1前	2									オムニバス
	生理学Ⅱ	1後	1									兼任教授が定年退職のため、平成22年4月から担当教員を変更(22) (兼任) → (兼任) オムニバス
	生理学実習	2前	1									
	病理学	2前	1			1						
	人間発達学	2後	2				1					
	リハビリテーション概論	1後	1				1					開講曜日時限との調整困難により、平成22年4月から担当者を変更(22) (担当) (教授) → (教授) (教授)
	臨床心理学概論	2前	1									
	精神医学	2前	2									
	内科学Ⅰ	2前	2									内科学における、より専門性の高い教育の充実を図るため、平成22年4月から担当教員を追加(22) 担当(兼任) (兼任) → (兼任) (兼任)
	内科学Ⅱ	2後	2									兼任教授の所属学科における担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22) 担当(兼任) → (兼任)
	小児科学	2後	1									兼任准教授の所属学科における担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22) 担当(兼任) → (兼任)
	神経内科学	2後	2									
	外科学	2後	1									平成22年4月からオムニバス形式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(22) 担当(兼任) → (兼任) (兼任)
整形外科学	2前	2										
脳神経外科学	2後	1										





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	救命救助法	1前		1								心肺蘇生法及びAEDの使用法について、より専門的な教育を行うため、平成21年4月から担当教員を変更(21)担当(兼担)→(兼担)
	労働衛生法規Ⅰ	2前		2								履修者数の増加に伴い、実習指導の充実を図るため、平成22年4月から追加(22) (兼担)、(兼担)→ (兼担)、(兼担)、 (兼担)、(兼担)、 (兼担)、(兼担)、 (兼担)、(兼担)
	労働衛生法規Ⅱ	2前		2								
	小計(11科目)		0	20		0	0	0	0	0	0	オムニバス
専門分野	基礎理学療法学系	理学療法概論	1前	1		2	2					平成21年4月から授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加した。担当(教授)→(教授)(准教授)
	理学療法用語論	2前		1		2	-1					平成22年4月から授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加した。担当(教授)→(教授)
	運動学	1後	1			3	0		2	-1		平成21年4月から授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加した。担当(教授)(助教)→(教授)(助教)
	運動学実習	2前	1			3	0	2	2	3	-2	平成22年4月に就任した助教を追加(22)(助教)→(助教)(教授)(助教)
	基礎理学療法学系	病態運動学	3前	2		1	0		1			平成22年4月から充実した実習指導を行うため、担当者を追加。また、准教授就任辞退のため、担当教員から削除(22)(准教授)(講師)(講師)(助教)(助教)→(助教)(助教)(教授)(助教)(助教)
	運動解剖学	3前 2後	2 1			1	0	1				准教授就任辞退のため、平成22年4月から教授に担当を変更(22)担当(准教授)→(教授)
小計(6科目)		3	4		3	-3	2	2	0			
理学療法評価学系	理学療法評価学概論	2前	1			1						平成22年4月から授業形式をオムニバス方式に変更し、専門分野の担当教員を追加(22)担当(講師)(講師)→オムニバス
	理学療法評価学Ⅰ	2後	1					2		-1		
	理学療法評価学Ⅱ	3前	1			1	1					
	理学療法評価学実習	3前	1				1	2	3			
	動作分析学	3後					1					
小計(5科目)		4	1		1	3	2	3	0			
理学療法治療学系	理学療法治療学総論	3前		1		1						平成21年4月から授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加。担当(教授)(助教)→(教授)(助教)(助教)(助教)
	運動療法学	3前	2			1						
	運動療法学実習	3後	1			1	1					
	物理療法学Ⅰ	1前	1			3	0		3	-2	-1	
小計(4科目)		4	1		4	1		3	-2	-1	平成22年4月に着任した助教を追加(22)担当(助教)→(助教)(教授)(助教)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	理学療法学Ⅱ	1後	1			1 -3 0		2 -1 0	3 -2 -1			平成21年4月から授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加した。担当(助教)→(教授)(教授)(助教)(助教)	
	理学療法学実習	2前	1			3	2 -1	2 -1	3 -2			平成22年4月から物理療法における、より専門性の高い教育指導の充実を図るため、担当教員を変更(22)担当(教授)(教授)→(講師)(助教)(助教)	
	義肢学	3後	1										
	義肢学実習	3後	1							1			
	装具学	3前	1								1		
	装具学実習	3前	1								1		
	日常生活技術学	3前	1				1						
	日常生活技術学実習	3後	1						1				
	運動器障害系理学療法Ⅰ	3前	1				1						
	運動器障害系理学療法Ⅱ	3後	1				1						
	神経障害系理学療法Ⅰ	3前	1				1						
	神経障害系理学療法Ⅱ	3後	1				1						
	内部障害系理学療法Ⅰ	3前	1							1			
	内部障害系理学療法Ⅱ	3後	1				1						
	小児理学療法	3前	1					1					
	高次脳機能障害学	4後		1			1						
	高齢者理学療法	3後		1			1						
	急性期理学療法	3後		1			1						
	スポーツ障害理学療法	4後		1						1			
	マニュアルセラピー	4後		1			1						
	プロフェッショナルスキル	3通	4				3	3	2	3			
	クリニカルリーズニング	4後		1			1						
	小計(26科目)			23	7		3	2	2	3	0		
	療域理学系	生活環境学	3後	1					1				
		地域理学療法	3後	2					1				
		理学療法国際事情	4後		1			1					
小計(3科目)			3	1		1	1	0	0	0			
臨床実習系	見学実習	1前	1			3	2 -1	2 -0	3 -0			実習指導の充実を図るため、平成22年4月から担当教員を追加(22)(教授)(教授)(助教)(助教)→(教授)(教授)(助教)(助教)(助教)(助教)(助教)(助教)	
	評価実習Ⅰ	2後	2			3	2 -3	2	3 -2			准教授就任辞退のため、平成22年4月から助教に担当を変更(22)担当(助教)→(助教)(助教)(助教)(助教)(助教)(助教)(助教)(助教)	
	評価実習Ⅱ	3前	4			3	3	2	3				
	総合臨床実習	4前		4		3	3	2	3				
	小計(4科目)		7	4		3	3	2	3	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野 総合領域	理学療法特論Ⅰ	3前		1		1					開講曜日時限との調整困難による兼任辞退のため、平成22年4月から削除(22) (兼任)削除	
	理学療法特論Ⅱ	3後		1		1						
	理学療法研究法	4後		1		1						
	応用理学療法学	4後		1			1					
	基礎ゼミ	3通	4			3	3	2	3			
	特別講義Ⅰ	2前		1								
	特別講義Ⅱ	4前		1		1						
	卒業研究	4通	4			3	3	2	3			
	小計(8科目)			8	6	0	3	3	2	3		0
合計(114科目)		—	9	7	0	4	3	3	4	0		
学位又は称号		学士(理学療法学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係				
卒業要件及び履修方法						授業期間等						
卒業要件：4年以上在学し125単位以上を修得しなければならない。						1学年の学期区分			2期			
履修方法：						1学期の授業期間			15週			
科目区分[人間科学系]より必修2単位を含めて8単位以上						1時限の授業時間			90分			
科目区分[自然科学系]より必修2単位を含めて6単位以上												
科目区分[語学系]より必修4単位を含めて8単位以上												
科目区分[医学系]より必修27単位を含めて30単位以上												
科目区分[保健学・衛生学系]より4単位以上												
科目区分[専門分野]より必修62単位を含めて69単位以上												

- (注)・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

## (2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
58	56	0	114	—	—	—	—	
				[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	

- (注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2	無し					
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2	無し					
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{無し}}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	136,727.16 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	136,727.16 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	14,570.00 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	14,570.00 m <sup>2</sup>				
	小 計	151,297.16 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	151,297.16 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	34,950.65 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	34,950.65 m <sup>2</sup>				
	合 計	186,247.81 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	186,247.81 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	74,221.81m <sup>2</sup> (74,221.81m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	共用する他の 学校等の専用 ( — m <sup>2</sup> )	計 74,221.81 m <sup>2</sup> (74,221.81m <sup>2</sup> )				
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
(3) 教 室 等	90室	105室	35室	9室 (補助職員 人)	4室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体			
	保健学部 理学療法学科			11 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	保健学部のみ 【図書】 経年劣化に伴う廃棄、 及び新規購入のため増 加。外国書は、経年劣 化に伴う減少。(22) 【学術雑誌】 経年劣化に伴う減少。 外国書は、新規購入の ため増加。(22) 【電子ジャーナル】 契約終了に伴う減少 (22) 【視聴覚資料】 経年劣化に伴う廃棄に よる減少(22)	
	保健学部	95,516 [30,464] 95,998 [28,362] (95,516 [30,464])	<del>1,609 [286]</del> 1,101 [402] <del>1,609 [286]</del>	22 [22] 21 [21] ( 22 [22] )	2,958 2,826 <del>2,958</del>	0 0 ( 0 )	0 0 ( 0 )		
	計	95,516 [30,464] 95,998 [28,362] (95,516 [30,464])	<del>1,609 [286]</del> 1,101 [402] <del>1,609 [286]</del>	22 [22] 21 [21] ( 22 [22] )	2,958 2,826 <del>2,958</del>	0 0 ( 0 )	0 0 ( 0 )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	5342.13m <sup>2</sup>		681		439,225				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	12,894.53m <sup>2</sup>		野球場一面 テニスコート8面 弓道場1 アーチERY練習場1						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には、電子 ジャーナル・データ ベースの整備費（運用 コストを含む）を含 む。
		教員1人当たり研究費等	1,048千円	1,101千円	図書購入費	10,153千円	10,955千円	10,955千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	183,185千円	88,169千円	92,549千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,900千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。						

(注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	杏林大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	取定容員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
医学部								
医学科	6	111	—	576	学士 (医学)	1.00	S45年度	東京都三鷹市新川6丁目20番2号
保健学部								
臨床検査技術学科	4	80	2年次 6 3年次 4	346	学士 (保健衛生学)	1.22	S54年度	東京都八王子市宮下町476番地
健康福祉学科	4	40	2年次 6 3年次 4	186	学士 (保健衛生学)	1.32	S54年度	東京都八王子市宮下町476番地
看護学科	4	100	2年次 2 3年次 8	382	学士 (看護学)	1.14	H 6年度	東京都三鷹市新川6丁目20番2号
臨床工学科	4	40	—	160	学士 (臨床工学)	1.27	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地
救急救命学科	4	40	3年次 5	170	学士 (救急救命学)	1.23	H19年度	東京都八王子市宮下町476番地
理学療法学科	4	40	—	80	学士 (理学療法学)	1.21	H21年度	東京都八王子市宮下町476番地
総合政策学部								
総合政策学科	4	170	3年次10	720	学士 (総合政策学)	1.20	S59年度	東京都八王子市宮下町476番地
企業経営学科	4	100	3年次 5	450	学士 (企業経営学)	1.14	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地
外国語学部								
英語学科	4	110	3年次 5	455	学士 (文学)	1.18	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地
中国語・日本語学科	4	40	3年次13	231	学士 (文学)	0.74	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地
応用コミュニケーション学科	4	40	3年次 2	390	学士 (文学)	1.09	H18年度	東京都八王子市宮下町476番地
観光交流文化学科	4	70	3年次 3	70	学士 (観光交流文化学)	1.34	H22年度	東京都八王子市宮下町476番地

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<保健学部 理学療法学科>

### (1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	教授		平成21年4月	リハビリテーション概論※					リハビリテーション概論	開講曜日時限との調整が困難のため、平成22年4月から担当教員から削除(22)	
				理学療法用語論	専	教授		平成22年4月	理学療法用語論※	平成22年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として追加(22)	
				運動器障害系理学療法Ⅰ							
				運動器障害系理学療法Ⅱ							
				高齢者理学療法							
				マニュアルセラピー							
				プロフェッショナルスキル							
				クリニカルリーズニング							
				理学療法国際事情							
				見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 基礎ゼミ 卒業研究							
								運動学※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)		
								物理療法Ⅰ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)		
								物理療法Ⅱ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)		
					専	講師		平成22年4月	物理療法における、より専門性の高い教育指導の充実を図るため、平成22年4月から担当教員を変更(22)		
									運動学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)	
									運動解剖学	准教授が就任辞退により、担当教員を変更したため、平成22年4月から科目を追加(22)	
									物理療法実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)	
専	教授		平成21年4月	リハビリテーション概論※					リハビリテーション概論	教授が、開講曜日時限との調整が困難のため、平成22年4月から担当教員を1名に変更(22)	

届出時の計画					変更状況					備考				
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名					
専	教授		平成21年4月	理学療法概論	専任 教授			平成21年4月	理学療法概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)				
					専任 准教授			平成21年4月						
					専任 准教授			平成21年4月						
								理学療法評価学概論 理学療法治療学総論 神経障害系理学療法学Ⅰ 神経障害系理学療法学Ⅱ プロフェSSIONALSスキル 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 理学療法特論Ⅰ 基礎ゼミ 特別講義Ⅱ 卒業研究						
												運動学※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)	
												物理療法学Ⅰ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)	
												物理療法学Ⅱ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)	
									専 助教		平成22年4月		物理療法における、より専門性の高い教育指導の充実を図るため、平成22年4月から担当教員を変更(22)	
												保健学概論※	教育効果をより高めるため、各領域の専門分野の担当教員として平成22年4月から科目を追加(22)	
												運動学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)	
								物理療法学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)					
専	教授		平成21年4月	病理学										
専	教授		平成21年4月	運動療法学※ 運動療法学実習 内部障害系理学療法学Ⅱ 高次脳機能障害学 急性期理学療法学 プロフェSSIONALSスキル 見学実習	専 准教授			平成22年4月	見学実習	実習指導の充実を図るため、平成22年4月から担当教員を追加(22)				
					専 講師			平成22年4月						
					専 講師			平成22年4月						



届出時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名				
専	教授		平成21年4月	見学実習	専	助教		平成22年4月	見学実習	実習指導の充実を図るため、平成22年4月から担当教員を追加(22)			
					専	助教		平成22年4月					
					専	助教		平成22年4月					
												理学療法概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門分野の担当教員として科目を追加(21)
												運動学※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)
												物理療法学Ⅰ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)
												物理療法学Ⅱ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)
												理学療法用語論※	平成22年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(22)
												運動学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月より科目を追加(22)
								物理療法学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月より科目を追加(22)				
専	准教授		平成21年4月	理学療法評価学実習	専	教授		平成22年4月	物理療法学実習	実習指導の充実を図るため、平成22年4月から担当者を追加(22)			
				物理療法学実習	専	教授		平成22年4月					
					専	教授		平成22年4月					
					専	准教授		平成22年4月					
					専	講師		平成22年4月					
					専	助教		平成22年4月					
				日常生活技術学 日常生活技術学実習 プロフェッショナルスキル 生活環境学 地域理学療法学 見学実習 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 応用理学療法学 基礎ゼミ 卒業研究									

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授		平成21年4月						理学療法概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)
									運動学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月より科目を追加(22)
専	准教授		平成22年4月	運動学実習 運動解剖学 動作分析学 運動療法学実習 義肢学 義肢学実習 装具学 装具学実習 プロフェッショナルスキル 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 基礎ゼミ 卒業研究						平成22年3月 准教授就任辞退(22) 後任者を平成22年10月1日付採用準備中
										就任辞退のため科目を削除(22)
					専	教授		平成21年4月	運動解剖学	准教授が就任辞退のため平成22年4月から担当教員を変更(22)
					専	助教		平成22年4月	評価実習Ⅰ	准教授が就任辞退のため平成22年4月から担当教員を変更(22)
専	准教授		平成21年4月	人間発達学 運動学実習 理学療法評価学Ⅱ 日常生活技術学実習 小児理学療法学 プロフェッショナルスキル 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 基礎ゼミ 卒業研究						
					専	教授		平成22年4月	運動学実習	充実した実習指導を行うため、担当者を追加(22)
					専	教授	平成22年4月			
					専	教授	平成22年4月			
					専	准教授	平成22年4月			
									理学療法概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)
									物理療法学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)
									見学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)

届出時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名				
専	講師		平成22年4月	運動学実習 病態運動学 理学療法評価学実習 運動療法学※ 運動療法学実習 スポーツ障害理学療法学 プロフェッショナルスキル 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 基礎ゼミ 卒業研究									
											保健学概論※	教育効果をより高めるため、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(22)	
												理学療法評価学Ⅰ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(22)
												物理療法学Ⅱ※	平成21年4月から理学療法領域の物理療法における、より専門性の高い教育指導の充実を図るため、担当教員を変更(22)
												物理療法学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)
								見学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)				
専	講師		平成22年4月	運動学実習 理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学実習 運動療法学実習 物理療法学実習 日常生活技術学実習 プロフェッショナルスキル 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 基礎ゼミ 卒業研究									
					専	講師			平成22年4月	理学療法評価学Ⅰ※	平成22年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(22)		
												保健学概論※	教育効果をより高めるため、各領域の専門分野の担当教員として平成22年4月から科目を追加(22)
												物理療法学Ⅱ※	平成22年4月から理学療法領域の物理療法における、より専門性の高い教育指導の充実を図るため、担当教員を変更(22)
								見学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)				
専	講師		平成21年4月	解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ									
専	助教		平成21年4月	運動学	専	教授		平成21年4月	運動学※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)			
					専	教授		平成21年4月					

届出時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名				
専	助教		平成21年4月	運動学 運動学実習 理学療法評価学実習 物理療法学Ⅰ	専	教授		平成21年4月	運動学※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)			
					専	助教		平成22年4月		平成22年度就任のため、担当教員として追加(22)			
					専	教授		平成21年4月	物理療法学Ⅰ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として追加(21)			
					専	教授		平成21年4月					
					専	教授		平成21年4月					
					専	助教		平成21年4月					
					専	助教		平成22年4月			平成22年4月に就任したため、担当教員として追加(22)		
									物理療法学実習 日常生活技術学実習 プロフェッショナルスキル 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 基礎ゼミ 卒業研究				
													物理療法学Ⅱ※
								見学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)				
専	助教		平成21年4月	情報処理論	兼任	講師		平成22年4月	情報処理論	平成22年4月から充実した演習を行うため、担当教員を追加(22)			
専	助教		平成21年4月	解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 運動学実習 理学療法評価学実習 運動療法学実習 物理療法学Ⅱ									
					専	教授		平成21年4月	物理療法学Ⅱ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)			
					専	講師		平成21年4月		物理療法における、より専門性の高い教育指導の充実を図るため、平成22年4月から担当教員の教授から変更(22)			
					専	教授		平成21年4月		平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(22)			
					専	助教		平成22年4月		物理療法における、より専門性の高い教育指導の充実を図るため、平成22年4月から担当教員の教授から変更(22)			
専	教授		平成21年4月	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(22)									

届出時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名				
専	助教		平成21年4月	物理療法学Ⅱ	専	助教		平成21年4月	物理療法学Ⅱ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(22)			
				物理療法学実習 義肢学実習 日常生活技術学実習 プロフェッショナルスキル 評価実習Ⅰ 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 基礎ゼミ 卒業研究									
												物理療法学Ⅰ※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(21)
												保健学概論※	教育効果をより高めるため、各領域の専門分野の担当教員として平成22年4月から科目を追加(22)
												見学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)
専	助教		平成23年4月					平成22年4月		学年進行に伴い、教員組織の充実を図る必要が生じたため、当初の就任予定を1年前倒しに採用(22)			
				理学療法評価学実習 運動療法学実習 装具学実習 日常生活技術学実習 内部障害系理学療法Ⅰ プロフェッショナルスキル 評価実習Ⅱ 総合臨床実習 基礎ゼミ 卒業研究									
							運動学※	授業形式がオムニバス方式のため、専門分野の担当教員として科目を追加(22)					
							物理療法学Ⅰ※	授業形式がオムニバス方式のため、専門分野の担当教員として科目を追加(22)					
							物理療法学Ⅱ※	授業形式がオムニバス方式のため、専門分野の担当教員として科目を追加(22)					
							物理療法学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月より科目を追加(22)					
							保健学概論※	教育効果をより高めるため、専門分野の担当教員として科目を追加(22)					
							運動学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)					
							物理療法学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)					
							見学実習	実習指導の充実を図るため平成22年4月から科目を追加(22)					
							評価実習Ⅰ	准教授就任辞退により、平成22年4月から担当教員を変更したため、科目を追加(22)					

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授		平成21年4月	労働衛生法規Ⅱ						
兼任	教授		平成21年4月	職業適性論※ 薬理学					保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21) 開講曜日時限との調整困難により兼任を辞退したため平成22年4月から削除(22)
兼任	教授		平成21年4月	職業適性論※ 生理学Ⅱ※	兼任	教授		平成22年4月	職業適性論※	定年退職のため、平成22年4月から担当教員を変更(22)
					兼任	助教		平成22年4月	生理学Ⅱ	定年退職のため、平成22年4月から担当教員を変更(22)
兼任	教授		平成21年4月	臨床心理学概論 精神医学 外科学	兼任	教授		平成22年4月	外科学※	平成22年4月からオムニバス形式に変更し、専門分野の担当教員を追加(22)
兼任	教授		平成21年4月	公衆衛生学Ⅰ※ 看護学	兼任	助教		平成21年4月	看護学	平成21年4月から、授業中の演習部分を充実させるため、補助として助教を追加(21) 兼任助教が退職のため平成22年4月から担当教員から削除(22)
									保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
兼任	教授		平成21年4月	リハビリテーション医学	兼任	准教授		平成22年4月	リハビリテーション医学※	平成22年4月からオムニバス形式に変更し、専門分野の担当教員を追加(22)
兼任	教授		平成21年4月	公衆衛生学Ⅰ※					保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21) 開講曜日時限との調整困難により兼任を辞退したため担当教員から削除(22)
兼任	教授		平成21年4月	産業保健学※ 公衆衛生学Ⅱ※ 労働衛生法規Ⅰ※ 環境衛生工学					保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
									職業適性論※	兼任教授の定年退職に伴う、担当教員の変更により、平成22年4月から科目を追加(22)
兼任	教授		平成21年4月	基礎物理学 物理学概論						
兼任	教授		平成21年4月	内科学Ⅱ	兼任	教授		平成22年4月	内科学Ⅱ	兼任教授の所属学科における担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22)
				医療安全論 高齢保健学 公衆衛生学Ⅱ※ 生命科学概論						
兼任	教授		平成21年4月		兼任	講師		平成21年4月	生命科学概論	兼任教授が所属する学科における担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授		平成21年4月	保健学概論	兼担	教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
					兼担	教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加した。(21)
										開講曜日時限との調整困難により兼担を辞退したため平成22年4月から削除(22)
					兼担	教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
					兼担	教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
										開講曜日時限との調整困難により兼担を辞退したため平成22年4月から削除(22)
					兼担	教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
					兼担	教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
					開講曜日時限との調整困難により兼担を辞退したため平成22年4月から削除(22)					
					兼担	准教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授		平成21年4月	保健学概論	兼担	准教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
										開講曜日時限との調整困難により兼担を辞退したため平成22年4月から削除(22)
					兼担	准教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
					兼担	准教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
					兼担	准教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
					兼担	准教授		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
					兼担	講師		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)
兼担	講師		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式(演習やオムニバス方式含む)に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)					



届出時の計画					変更状況				備考					
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月		担当授業科目名				
兼任	教授		平成21年4月	保健学概論	兼任	助教		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式（演習やオムニバス方式含む）に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)				
					兼任	助教		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式（演習やオムニバス方式含む）に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加した。(21)				
										開講曜日時限との調整困難により兼任を辞退したため平成22年4月から削除(22)				
					兼任	助教		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式（演習やオムニバス方式含む）に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)				
										開講曜日時限との調整困難により兼任を辞退したため平成22年4月から削除(22)				
					兼任	助教		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式（演習やオムニバス方式含む）に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)				
					兼任	助教		平成21年4月	保健学概論※	平成21年4月から、教育効果を高めるため、履修者を少人数グループに分け、各グループに担当教員を配置して、ディスカッションやグループワークなどを行う授業形式（演習やオムニバス方式含む）に変更し、各領域の専門分野の担当教員を追加(21)				
					専任	教授		平成21年4月	保健学概論※			平成21年4月		教育効果をより高めるため、各領域の専門分野の担当教員としてさらに追加(22)
					兼任	准教授		平成22年4月						
					兼任	准教授		平成22年4月						
					兼任	講師		平成22年4月						
					兼任	講師		平成22年4月						
専任	講師		平成22年4月											

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授		平成21年4月	公衆衛生学Ⅰ※ 公衆衛生学Ⅱ※	専	講師		平成22年4月	保健学概論※	教育効果をより高めるため、各領域の専門分野の担当教員としてさらに追加(22)
					兼担	講師		平成22年4月		
					兼担	講師		平成22年4月		
					兼担	助教		平成22年4月		
					専	助教		平成22年4月		
					専	助教		平成22年4月		
兼担	教授		平成21年4月	神経内科学						
兼担	教授		平成21年4月	脳神経外科学					外科学※	オムニバス形式に変更したため、平成22年4月から担当教員として科目を追加(22)
兼担	教授		平成21年4月	社会福祉学※					社会福祉学	開講曜日制限との調整困難により兼担を辞退したため平成22年4月から削除(22)
兼担	教授		平成21年4月	生理学Ⅰ※ 生理学実習						
兼担	教授		平成21年4月	内科学Ⅰ※						
兼担	教授		平成21年4月	医学英語	兼担	助教		平成22年4月	医学英語	兼担教授が所属する学科において担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22)
				解剖学Ⅰ※ 解剖学Ⅱ※ 解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 特別講義Ⅰ						
兼担	教授		平成21年4月	免疫学						
兼担	教授		平成21年4月	職業適性論※	兼担	教授		平成22年4月	職業適性論※	定年退職のため、平成22年4月から担当教員を変更(22)
兼担	教授		平成21年4月	公衆衛生学Ⅰ※					保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
										開講曜日制限との調整困難により兼担を辞退したため平成22年4月から削除(22)
兼担	教授		平成21年4月	職業適性論※ 産業保健学※ 公衆衛生学Ⅰ※ 公衆衛生学Ⅱ※					保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授		平成21年4月	地域保健学						
兼任	教授		平成21年4月	感染症学						
兼任	教授		平成21年4月	内科学Ⅰ※	兼任	教授		平成22年4月	内科学Ⅰ※	内科学における、より専門性の高い教育の充実を図るため、平成22年4月から専門分野の担当教員を追加(22)
兼任	教授		平成21年4月	救命救助法	兼任	教授		平成21年4月	救命救助法	心肺蘇生法及びAEDの使用法について、より専門的な教育を行うため、平成21年4月から担当教員を変更(21)
					兼任	助教		平成22年4月	救命救助法	履修者数の増加に伴い、充実指導の充実を図るため、平成22年4月から追加(22)
					兼任	助教		平成22年4月	救命救助法	履修者数の増加に伴い、実習指導の充実を図るため、平成22年4月から追加(22)
					兼任	助教		平成22年4月	救命救助法	履修者数の増加に伴い、実習指導の充実を図るため、平成22年4月から追加(22)
兼任	准教授		平成21年4月	基礎生物学						
兼任	准教授		平成21年4月	法学	兼任	准教授		平成21年4月	法学	平成21年4月から、履修機会を増やすために1クラス(授業コマ)を追加(21)
兼任	准教授		平成21年4月	基礎化学	兼任	教授		平成22年4月	基礎化学	学科別開講への変更に伴い、担当教員を変更(22)
									保健学概論※	より教育効果を高めるため、各領域の専門分野の担当教員として科目を追加(22)
兼任	准教授		平成21年4月	数学統計学						
									保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
									保健学概論※	開講曜日時限との調整困難による兼任辞退のため平成22年4月から科目を削除(22)
兼任	准教授		平成21年4月	社会福祉学※						
				公衆衛生学Ⅱ※				社会福祉学	平成21年4月から複数学科開講科目から学科別開講に変更したため、担当教員を熊井利廣兼任准教授1名に変更(22)	
兼任	准教授		平成21年4月	整形外科学						
									保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
兼任	准教授		平成21年4月	生理学Ⅰ※ 生理学実習						
									保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
									保健学概論※	開講曜日時限との調整困難による兼任辞退のため平成22年4月から科目を削除(22)

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	准教授		平成21年4月	生化学概論	兼任	講師		平成21年4月	生化学概論	兼任准教授が所属する学科において、担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21)	
										保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
兼任	准教授		平成21年4月	心理学 発達心理学						において、担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21)	
兼任	准教授		平成21年4月	公衆衛生学Ⅰ※		教授				平成21年4月から昇任のため職名変更(21)	
兼任	准教授		平成21年4月	解剖学Ⅰ※	兼任	助教		平成21年4月	解剖学Ⅰ※	所属学科における担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21)	
				解剖学実習Ⅰ	兼任	助教		平成21年4月	解剖学実習Ⅰ	所属学科における担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21)	
				解剖学Ⅱ※	兼任	助教		平成22年4月	解剖学Ⅱ※	所属学科における担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22)	
				解剖学実習Ⅱ	兼任	助教		平成22年4月	解剖学実習Ⅱ※	所属学科における担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22)	
				栄養学 公衆衛生学Ⅰ※						保健学概論※	平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
兼任	准教授		平成21年4月	小児科学	兼任	准教授		平成22年4月	小児科学	兼任准教授の所属学科における担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22)	
兼任	准教授		平成21年4月	生理学Ⅱ※							
兼任	講師		平成21年4月	公衆衛生学Ⅱ※						平成21年4月から、授業形式をオムニバス方式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)	
兼任	講師		平成21年4月	英語Ⅳ		准教授				平成21年度昇任のため職名変更(22)	
兼任	講師		平成21年4月		兼任	助教		平成22年4月	英語Ⅳ	平成22年4月から開講曜日時限の調整が困難となったため、兼任辞退により担当教員を変更(22)	
兼任	講師		平成21年4月	救命救助法	兼任	講師				定年退職により平成22年4月から兼任に変更(22)	
兼任	講師		平成21年4月	解剖学Ⅰ※						開講曜日時限との調整困難により兼任を辞退したため平成22年4月から削除(22)	
				解剖学Ⅱ※							開講曜日時限との調整困難により兼任を辞退したため平成22年4月から削除(22)
				解剖学実習Ⅰ	兼任	講師		平成22年4月	解剖学実習Ⅰ	開講曜日時限との調整困難により兼任を辞退したため平成22年4月から担当教員を変更(22)	

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師		平成21年4月	解剖学実習Ⅱ				平成22年4月	解剖学実習Ⅱ	開講曜日時限との調整困難により兼任を辞退したため平成22年4月から担当教員を変更(22)	
				特別講義Ⅰ					特別講義Ⅰ		開講曜日時限との調整困難により兼任を辞退したため平成22年4月から担当教員を変更(22)
									保健学概論※	教育効果をより高めるため、各領域の専門分野の担当教員として平成22年4月から科目を追加(22)	
兼任	助教		平成21年4月	救命救助法							
兼任	助教		平成21年4月	解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 特別講義Ⅰ							
兼任	助教		平成21年4月	産業保健学※ 環境衛生工学				平成22年4月	環境衛生工学※	平成22年4月からオムニバス形式に変更し、専門分野の担当教員を追加(22)	
				労働衛生法規Ⅰ※					保健学概論※		平成21年4月から、授業形式をオムニバス形式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
兼任	助教		平成21年4月	生理学実習					生理学Ⅱ※	兼任教授の定年退職に伴う、担当教員の変更により、平成22年4月から科目を追加(22)	
兼任	助教		平成21年4月	特別講義Ⅰ				平成22年4月	解剖学Ⅰ※	兼任准教授が所属する学科において、担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21)	
									解剖学実習Ⅰ		兼任准教授が所属する学科において、担当科目が増加したため、平成21年4月から担当教員を変更(21)
									解剖学Ⅱ※		兼任准教授が所属する学科において、担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22)
									解剖学実習Ⅱ※		兼任准教授が所属する学科において、担当科目が増加したため、平成22年4月から担当教員を変更(22)
兼任	助教		平成21年4月	救命救助法							
兼任	助教		平成21年4月	社会福祉学※					社会福祉学	学科別開講への変更に伴い、他学科を担当することとなったため削除(22)	
				公衆衛生学Ⅱ					保健学概論※		平成21年4月から、授業形式をオムニバス形式に変更し、専門領域の担当教員として科目を追加(21)
兼任	助教		平成21年4月	解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 特別講義Ⅰ							

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教		平成21年4月	英語Ⅲ		講師				平成21年4月から昇任のため職名変更(21)
兼任	助教		平成21年4月	生理学実習		兼任講師		平成22年4月	英語Ⅲ	平成22年4月から開講曜日時間の調整が困難となったため、兼任辞退により担当教員を変更(22)
兼任	講師		平成21年4月	英語Ⅱ		兼任講師		平成21年4月	英語Ⅱ	兼任講師の出講日と時間割編成の調整が不可能となったため、平成21年4月から担当教員を変更(21)
兼任	講師		平成21年4月	哲学 生命倫理学 倫理学						
兼任	講師		平成21年4月	職業適性論※						
兼任	講師		平成21年4月	英語Ⅰ		兼任講師		平成21年4月	英語Ⅰ	兼任講師が退職のため、平成21年4月から担当教員を変更(21)
兼任	講師		平成21年4月	日本語表現法						平成21年4月から、履修機会を増やすために1クラス(授業コマ)を追加(21)
兼任	講師		平成21年4月	社会学						
兼任	講師		平成21年4月	芸術		兼任講師		平成22年4月	芸術	兼任講師が退職のため、平成22年4月から担当教員を変更(22)
兼任	講師		平成21年4月	英会話		兼任講師		平成22年4月	英会話	履修機会を増やすために平成22年4月からクラス(授業コマ)を追加し、担当教員を追加(22)

- (注) ・ 設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	3	3	4	14	0	4	2	3	4	13	0	
(4)	(2)	(1)	(3)	(10)	(0)	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	

- (注) ・ 「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授		一身上の都合により就任辞退
2			
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

准教授就任辞退に伴う教員交代については以下のとおりである。  
「運動学実習」「評価実習Ⅰ」今年度採用される助教を含め、各領域の専門分野の教員10名を配置し、きめ細かな実習指導を計画しているため、教員交代に伴う実習及び学生への影響はないと考える。また、「運動解剖学」は運動解剖を専門としている教授を担当教員としたため、教員交代に伴う講義及び学生への影響はないと考える。これらの担当教員の変更は、シラバスに記載しており、学生への周知は十分なされている。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

<保健学部 理学療法学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <p>a 基礎医学実習室 1 (134㎡)</p> <p>b 基礎医学実習室 2 (134㎡)</p> <p>c 基礎医学実習室 3 (139㎡)</p>	<p>① 学生の利便性及び修学環境をより良いものに改善するため、基礎医学実習室各室の、位置（レイアウト）を変更した。また、基礎医学実習室 1 及び 2 については、当該レイアウト変更に伴い、それぞれ 6㎡ずつ面積が増加した。なお、当該変更については、事前に文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室及び文部科学省高等教育局医学教育課へ確認し、医学教育課にて変更承認申請書を提出済みである。レイアウト変更工事は、6月下旬から8月下旬頃までに完了し、後期の授業開始までに間に合う予定で進行している。(21)</p> <p>a 基礎医学実習室 1 (140㎡)</p> <p>b 基礎医学実習室 2 (140㎡)</p> <p>c 基礎医学実習室 3 (139㎡)</p> <p>当該レイアウト変更工事は、平成 21 年 8 月末に完了した。また、文部科学省からは、変更承認申請書（平成 21 年 8 月 27 日付 21 文科高第 6438 号）を受領済。(22)</p>

- (注) ・ 1～6 の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>常置委員会の中に運営委員会を設置し、その中で FD 委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>運営委員会は、毎月 1 回開催し、学部長、教務部長、学生部長、その他の委員（教員）8 名で構成している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>制度に関する事項、学部運営に関する事項、予算に関する事項、将来構想に関する事項、FD に関する事項、について審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>① 授業方法についての研究会（外部講師による講演会等）</p> <p>② 授業評価アンケート</p> <p>③ 教員相互の授業参観</p> <p>④ 教員評価</p>
--

b 実施方法

- ①外部講師を招き、授業方法改善の取り組みについての講演会を実施した。
- ②学生による授業評価アンケートを毎学期実施している。結果は教員へフィードバックし、ホームページにも掲載している。
- ③授業評価アンケート結果の優良者を学科ごとに選定し、その教員の授業を全教員に見学するよう求め、見学後、授業改善策に関するレポートを提出させている。また、授業実施教員との討論会も実施している。
- ④評価シート様式を作成し、その様式に基づき各教員が自己評価を行い、評価結果を提出させ、評価委員による面接を実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①講演は、年に数回実施しており、多数の教員が参加している。
- ②授業評価アンケートは、学期ごとに、原則として全授業で実施している。
- ③年1回、授業見学を実施している。多数の教員が授業見学及び討論会に参加している。
- ④年1回、全教員が自己評価を行い、評価委員の面接を受けている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員へフィードバックする授業評価アンケート結果や、講演会、授業見学、討論会などで得た知見をもとに、各教員が自ら授業改善策を検討し、実際の授業で実践している。

- (注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医療人としての倫理観に裏付けされた、豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など、幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的に、平成21年に設置した。目的の達成に向けて、臨床経験豊かな教員を専任教員として採用し担任制を敷くことにより、学生一人一人に対する、きめ細かな教育を実践している。また、より良い学習環境の整備を常に検討し、教室や実習室、図書館等のインフラ整備（充実）を随時行っており、学習効果を高めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・年1回公表している。（例年2月頃）

b 公表方法

- ・杏林大学の現況（自己点検・自己評価のためのデータブック）を年1回刊行し、監督官庁をはじめ他大学等に配布している。また、大学ホームページ上でも公開している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成20年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受けたところであり、次回7年以内に評価を受けるべく、今後検討を行っていく。

- (注)・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 年 月 日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(http://www. 未定 )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)  
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。